



国土交通省 斉藤大臣宛に要望書を提出

日頃の議員活動に、ご協力いただきありがとうございます。今年も、例年よりも早い梅雨入りとなりました。

各地で大雨やゲリラ豪雨による被害が想定されます。皆さんには、避難場所や避難通路の確認、非常用品の準備など、災害への備えをお願いします。今回の後援会だより74号では、6月の市議会定例会一般質問の内容と個人の議員活動を報告させていただきます。

部活動外部指導者育成と中小企業振興基本条例について質問

(1) 外部指導者などの育成に関する重要性の認識

部活動の地域移行については「組織運営」と「理念に基づいた運動」両面からのメソッドで、正しく安全に指導できる指導者育成がまず必要となってくると思います。指導者育成の効果としては、選手を守るだけでなく、指導者を守る効果も期待できます。市としての指導者育成に関する認識についてお聞かせください。

●市の回答(抜粋)

今年度より「部活動在り方検討委員会」を設置し、今後の「部活動の地域移行」などを含めた部活動の在り方について、協議を進めていきます。

子どもたちへの指導にあたって、体力や技能の向上を図る以外にも、異年齢との交流のなかで、子どもたち同士や指導者との好ましい人間関係を築き、多様な学びの場として価値ある経験をさせていくことが大切です。このことから指導者の果たす役割と存在は大きなものであると思います。今後の部活動の在り方を協議し、外部指導者に組織運営や適切なトレーニングなどを依頼していく際には、愛敬議員のご指摘どおり、指導者に対する継続的な育成研修プログラムの実施が重要であると考えます。外部指導者の研修会に関しては、国が実施し、経費の一部を支援する「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」があります。この事業を活用しながら、部活動における指導者育成などを行なっている企業や大学との連携も視野に入れ「部活動在り方検討委員会」で協議していきたいと考えています。



(2) 理念条例「中小企業・小規模企業振興条例」制定に向けた現時点での状況

3月の市議会定例会では市長・産業振興部長から、市として「条例が制定できるように取り組む」という答弁をいただきました。三重県の市町では初めてとなる条例制定なので労働団体も注目していると思います。現状の条例制定に向けた進捗状況についてお聞かせください。

●市の回答(抜粋)

令和5年4月3日、中小企業・小規模企業が経済的社会的環境の変化に対応し、桑名市の経済の持続的な発展および県民生活の向上に寄与することを目的に、日本労働組合総連合会 三重県連合会様および連合三重 桑名地域協議会様から「『中小企業振興基本条例』の制定を求める要望書」が提出されました。市としても、地域の中小企業・小規模企業を重視し、その振興を推進していくために、早い段階で中小企業・小規模企業振興条例が制定できるよう取り組んでいきたいと思えます。これらの条例制定の要請を受けまして、9月議会に条例案を上程できるよう関係機関と協議し、条例制定に向けて準備を進めているところです。

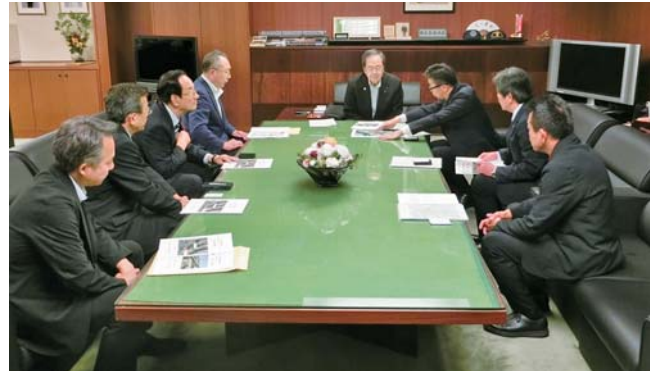
最近の愛敬重之活動報告です

●桑名市長と大山田スマートインターチェンジ設置要望書を国土交通省大臣に提出

この度、要望書を持参し、国土交通省:齊藤大臣を訪ねて、大山田スマートインターチェンジについて報告しました。

内容は、近隣企業にお勤めの方、坂井多度線付近の住民の方々から相談を受けている自治会連合会の「大山田パーキングエリアにおけるスマートインターチェンジの早期完成」、御衣野工業団地連絡協議会の「大山田スマートインターチェンジ及び都市計画道路桑名北部東員線の整備について」です。

齊藤大臣からは「しっかりと支援していきたい」と力強いコメントをいただきました。



齊藤大臣に説明する市長

●東汰上農道整備事業が成功

東汰上自治会より要望をいただいていた農道について、地権者の同意がいただけたことから、農道整備事業を進めることができ、6月に完成となりました。



農道整備事業前



農道整備事業後

●ポータブル異常検知装置を桑名広域清掃事業組合ゴミ処理施設に設置



桑名市上下水道部施設に続き、今度は、ゴミ処理施設の設備にデモンストレーションで操作方法や測定方法を見ていただきました。

設置箇所については3箇所です。

- ①ボイラ給水ポンプ
- ②雑用空気圧縮機
- ③低圧蒸気復水器

その後、測定結果の意見交換を行ないました。2週間後、測定結果報告書がNTNから提出されます。

※NTNポータブル異常検知装置は、設備の振動測定や軸受の異常検知と損傷部位の推定を可能とするデバイスです。